



主 催 者 挨拶

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団

理事長 木 村 隆 昭

全国各地から多くのジュニアセイラー、指導者そして保護者の方々を浜名湖に迎え、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

さて、本年も「第22回YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」が文部科学省、公益財団法人日本体育協会、静岡県、浜松市をはじめ多くの団体・企業の皆様のご後援、ご協賛をいただき、そして安全な大会運営に多くのスタッフのご協力を受け、ここ「静岡県立三ヶ日青年の家」にて昨年に引き続きジュニアセイラーを迎えて開催に至り、喜びに堪えません。

今回も前回に引き続き、独立行政法人日本スポーツ振興センターの補助を受けスポーツ振興に貢献する大会として開催されます。

その目的は、自然を相手に状況を自ら判断するセーリングスポーツを通して青少年の心身育成と、将来を担うジュニアセイラーが仲間と競い合う中で強い心と新しい技の成長にあります。そして『本格的なセーリングシーズンに入る前に自らの技量を再確認することで、今シーズンの新たな目標を設定する大会』として位置付けてきました。

昨年には、スポーツ界に大きな目標となる「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催が決定しました。本大会の歴代優勝者からも6名の五輪代表選手を輩出し、参加した多くのセイラーが社会人になり指導者の道でも活躍しています。

そのオリンピック、指導者の先輩たちを招き、レース中そしてレース後の技術指導も予定していますが、今回も多くのことを学んでくれることを期待します。

参加選手の皆様におかれましては、浜名湖の自然変化に素早く・的確に対応し、日頃の練習成果を十分に発揮し、大会を通じて幅広い年代のセイラーとの交流と友情を育み、そして次への目標を見出されることを願っています。

またご引率の指導者、保護者の方々におかれましては、レース後の勉強会にも参加いただいて、運動能力を形成する重要な成長時期の子供たちへの専門的な視点からの指導の仕方など、交流を通して新たな学びが生まれれば幸いです。

最後になりますが、本大会開催にあたり、ご支援、ご協力を賜った関係各位の皆様方に厚く御礼申しあげるとともに、参加される選手諸君、指導者、保護者の皆さんそして関係者にとって、絶好なコンディションの中、「参加して良かった」と感じられる素晴らしい大会になることを願い主催者を代表しての挨拶といたします。



歓迎のごあいさつ

NPO 法人 静岡県セーリング連盟
会 長 荒 田 忠 典

全国から多くのジュニアセイラー、ご家族、指導者の皆様が浜名湖に集い「第22回YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」が開催されますことを、静岡県セーリング連盟を代表し、心より歓迎いたします。

歴史を持つ本大会を振り返ると、時代の変化とともにセーリング界も国内外で盛んに競技が行われた時代から、少子化の影響からセーリングを愛好するジュニア・ユースのセイラーが大きく減少した時期もありました。

また1996年アトランタ五輪、2004年アテネ五輪では、セーリング界待望のメダルを獲得、その後も五輪開催ごとにメダル候補として期待されてきましたがここ数年、メダル獲得の成績を取ることができていません。

本年2月に開催された冬季五輪のソチ大会でも、国内外の代表選手で10代の選手の活躍が多く見られました。スポーツ界ではここ数年「10代で世界と競う」ことが当たり前になってきました。

2020年には、スポーツ界全体が目標とする東京五輪が開催されることが決定しました。このスポーツ祭典に向けて今一度、日本も「元気と希望」を持って頑張らなくてはならないと確信しています。

今ここに集う10代のセイラーたちは、2020年東京五輪の日本代表として、活躍することを願っています。そして多くのオリンピックを世界に送り出した本大会では、先輩たちも強風の中、早春の浜名湖でセイル一杯に受け、何回も沈を繰り返しながら成長してくれたことでしょう。

選手を指導するコーチ、ご家族の方々のご苦勞、ご負担は並大抵のものではないと思いますが、子供たちと成長を分かち合い、これからもたゆまぬご支援をお願いいたします。

ジュニアセイラー諸君が持てる力を精いっぱい発揮し、10代で世界と競えるセイラーに成長、次の大きな目標にチャレンジしてもらいたいものです。

最後に、本大会を開催するにあたり関係各位のご尽力とご協力に対し厚く御礼申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。



ご挨拶

公益財団法人 日本セーリング連盟
会 長 河 野 博 文

「第22回YMF Sセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」が、日本の中央に位置する浜名湖で全国から多数のジュニアセーラーが参加して盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げます。

昨年9月IOC総会で2020オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定されました。これを機に、東日本大震災で国内外から寄せられた支援に感謝し復興する日本の活力を世界に発信すると共に、海洋国日本にあってセーリングスポーツの素晴らしさ、感動と勇気を多くの皆様に伝えたいと願っています。この大会に参加する皆さんも、世界に羽ばたく日本のトップセーラーとして、また将来のオリンピック日本代表選手として活躍されることを期待しております。

セーリングスポーツは、厳格な競技スポーツであるとともに、年齢・性差にかかわらず誰でもが楽しめる優れた生涯スポーツです。また、厳しい自然と触れ合うことにより、勇気、忍耐、冒険心、創造性、チームワークなど子供たちにとって望ましい資質を養う素晴らしいスポーツです。

参加するセーラーの皆さん、日頃培った練習成果を存分に発揮して、公益財団法人日本体育協会が進める「フェアプレー宣言」の精神、「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」の気持ちを持って力いっぱいセーリングしてください。そしてすべての参加者が、楽しい思い出と友情を深める場として、心に残すことを願っています。さらに、いつまでもきれいな湖であるように、自然環境を大切にしてください。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団が、子ども達の育成に注力し、本大会を継続して主催されておられることに深甚なる敬意を表するものであります。

終わりに、本大会開催のためにご支援、ご協力を賜った関係各位の皆様には厚く御礼申し上げるとともに、選手諸君の安全と健闘を祈念し、ご挨拶といたします。